

(様式2)



2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

### 事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 静岡県立浜松工業高等学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ <b>V</b> (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	建築科1年生 (41人) 建築科3年生 (41人) 建築研究部 (20人)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 工業実習 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	教科(建築)と絡め、国立競技場に用いられている建築技法について学び、オリンピックへの関心を高める。
5 取組内容	<p>国立競技場は、本県の杉材が多く使われており、その活用には伝統的な技術が生かされている。</p> <p>講演内容は、古い建築物の構造と技法を中心に、現代建築にどのように生かされているか等、深く掘り下げた内容であった。また、伝統的手工具の実演では、建築の基本であるカンナ削りを体験することができた。</p> <p>また、講演等から学んだカンナ削りや継手・仕口の技術・技法を実習の中で実践する。</p>
	 
6 主な成果	<p>国立競技場には鉄・木構造が使われている。大空間を作る技術、大構造物に使われる片持梁の技術を深く理解できた。</p> <p>また、講師が現在手掛けている重要文化財の修復作業の話題では、伝統技術が現在の工法にも生かされていることが具体的に挙げられ、興味関心を高めることができた。</p>

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>講話だけでなく、実際に材木の加工を体験することで、より理解を深めるようにした。 古くからの神社仏閣に使われる技法も学習することで、現代の建築技法への繋がりを学べるようにする。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>建築技法を中心にした講話のため、ある程度専門の知識が必要である。専門用語が多用されるので、対象に限られる。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>実施予定なし</p>